

教科	農業科	単位数	2 単位	学科・学年・コース	環境科学科・3年・森林コース
使用教科書	林産物利用		副教材等	自作プリント	

1 学習の到達目標

林産物の加工、利用に必要な知識と技術を習得し、林産物の特性を理解するとともに、林産物の多様な利用を図る能力と態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	使用教科書項目	主な学習活動（指導内容）と評価のポイント	評価方法
4 ～ 6 月	5 特用林産物の生産と加工	1 きのこの生産と加工 1-1 きのこの生態 1-2 主なきのこの栽培 1-3 きのこの加工 2 山菜の加工 2-1 山菜の特徴と栽培 2-2 山菜の加工	• きのこの基本的な生態と栽培方法について学びます。 • 山菜の特徴と栽培方法を学びます。	ノート 実習観察 レポート テスト 他
7 ～ 9 月	4 木材の加工と利用	1 改良木材の製造 1-1 改良木材の構造 合板 1-2 集成材 1-3 ファイバーボード 1-4 その他の改良木材	• 合板の特徴と製造について学びます。 • 合板の種類、製造や集成材の特徴について理解します。 • 集成材の作成を体験します。 • ファイバーボードの特徴を説明できる。	
10 ～ 11 月	2 木材パルプ	2-1 パルプ原料とパルプの分類 2-2 製造法と製紙	• パルプの種類と製造について学びます。 • 製紙の過程を理解し説明することができる。 • 紙の種類について理解する。 • 紙の再利用について考えることができる。	
12 ～ 3 月	3 木炭	3-1 木炭の炭化	• 木材炭化による生産物と和紙について特徴や製造工程について学びます。 • 製炭方法や代表的な炭の種類と特徴が説明できる。 • 炭化実験をとおして炭化について理解している。	

3 評価の観点・方法

評価は、次の4つの観点から行います。

関心・意欲・態度	座学・実習への積極的な参加と、レポート等の提出。
思考・判断・表現	理論と実習が一体となり、新たな工夫が出来る。
技能	習得技術で実験ができる。
知識・理解	座学での学習内容を実物や技術で確認できる。

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

(1) 考査や小テストの結果 (2) 提出物の状況(期日と内容) (3) 出席状況 (4) 授業の取り組み状況

また、1年間の評定は、前期・後期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して決定します。

4 特に強調しておきたい点（留意すべき点・学ぶことによって得られること）

- 実習では常に「安全」に留意し、怪我・災害の防止に努めること。
- 近くの森林にも積極的に出かけ、常に自然に親しんで観察する姿勢を持てること。
- 木材や林産物についての社会的な出来事にも関心を持てること。
- 観察記録や実験実習のレポートを作成する力を身に付け、期日までに提出すること。